

事業概要表（草の根技術協力パートナー型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ネパール連邦民主共和国
2. 事業名	住民参加で行う低コスト型蛇籠護岸の普及と河川防災活動支援事業
3. 事業の背景と必要性	<p>ネパール国は雨期の集中豪雨により河川氾濫が生じやすく、多くの犠牲者が出ている。ゴルカ (Gorkha) 郡は山地に囲まれた豪雨地帯であるが、住民の防災意識が低く河川護岸も整備されていないことから人命や生活基盤への損害が続いている。</p> <p>ネパール国で使われる「蛇籠」は低品質で防災効果が低い。そのため、地方自治体や住民らと協働した蛇籠護岸の技術移転、ならびに洪水ハザードマップ作成や早期避難訓練等を行うことによるハード・ソフト両面からの防災支援が重要である。</p> <p>高知大学は 2016 年度から 3 か年に亘り草の根技術協力事業を実施し傾斜地防災に資する「蛇籠」技術をネパール国に移転した。関係者が課題解決に積極的であるため、今回は技術的難度の高い河川災害対策を行うものである。</p>
4. プロジェクト目標	日本の伝統的な知見を活かした丈夫で低コストな蛇籠護岸の普及とゴルカ郡における地域住民参加型の河川災害軽減対策の推進
5. 対象地域	ネパール国ゴルカ郡
6. 本事業の対象となる人々 (ターゲットグループ)	防災行政担当者、現地技術者、ゴルカ郡の地域住民
7. アウトプット および活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現地技術者・防災行政担当者に対する河川防災対策の能力開発 2. 地域住民と協働した洪水ハザード分析と蛇籠護岸設置個所の選定 3. 低コスト型蛇籠護岸の設置と地域住民への周知 4. インフラの維持と河川災害軽減に対する地域住民の意識啓発と学習効果 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本邦視察等により河川防災に関する専門知識を修得し河川防災技術の必要性を理解させる。 2. ハザードマップを作成し地域住民に洪水危険度と対応策を理解させる。 3. 地域住民との協働作業により蛇籠護岸を設置し現地技術者と地域住民を対象とした建設とメンテナンス講習会を開催する。 4. アンケートとワークショップ、災害図上訓練、避難訓練などから河川防災に関する意識啓発を行い、住民主導で洪水避難行動計画を立案する
8. 実施期間	2021 年 8 月～ 2024 年 8 月（3 年 0 ヶ月）
9. 事業費概算額	90,586 千円（税込）
10. 事業の実施体制	相手国実施機関：Green Innovative Research Center
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人高知大学
2. 活動内容	高知大学はネパール国からの留学生受け入れに積極的である他、AMDA との連携協定に基づき 2009 年から毎年 AMDA ネパールこども病院へ医師、看護師の派遣を行っている。また、2017 年 3 月から 3 年に亘り、高知県梶原町による草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）に参加しネパール国に対する蛇籠技術による傾斜地防災の活動を行った。